

令和8年3月19日

水戸市長 高橋 靖 様

(仮称) 南部図書館整備検討に関する有識者会議

座長 岡部 普典

### (仮称) 南部図書館の整備検討について (提言)

当会議におきましては、(仮称) 南部図書館(以下「新図書館」という。)の整備検討について、地域住民のほか、子育て支援やまちづくり、地域振興、図書館情報学、デジタル技術、商工業に関わる者の立場から、様々な意見を交わしました。

南部地域は人口が著しく増加していますが、子どもや高齢者が読書や学習のために通える施設が不足しています。さらに、中高生や不登校児が利用できる第三の居場所づくりのほか、希薄になった地域住民の交流を促し、子育て支援の充実を図り、孤立・孤独を防ぐための対策が強く求められています。

このような課題の解決と地域の生涯学習環境の向上のためには、南部地域に図書館を整備することが必要であると考えます。

それを踏まえ、今後の事業推進に当たり、下記のとおり意見を提出いたしますので、本意見を十分に考慮し、事業に取り組むよう要望いたします。

#### 記

### 1 新図書館の重点課題

#### (1) 図書館の枠を超えたライブラリー

既存の「図書館」という固定観念にとらわれず、交流、創造、遊びなど多様な要素を含んだ**未来志向の「ライブラリー」**を目指すこと。

#### (2) 子どもが気軽に利用できる図書館

南部地域では、こどもの数が増えている一方で、こどもの居場所となる施設が限られているため、**子どもがアクセスしやすく、利用しやすい図書館**を目指すこと。

### (3) 市民が学び、交流できる図書館

図書館の資料や講座を利用して、市民がそれぞれの学びを深めるとともに、イベントやボランティア活動を通して、市民が交流し、情報交換を行い、それぞれの**課題が解決できる図書館**を目指すこと。

## 2 新たな図書館に期待する役割とサービス

### (1) こどもや若者の居場所づくり

ア 学校や家庭以外の第三の居場所として、小学生から高校生までの**こどもや若者が安心して過ごせる空間**を提供すること。また、こどもや若者が気兼ねなく利用できる、おしゃべり可能な空間やグループ活動の部屋を設けること。

イ 将来への不安や様々な悩みを抱えるこどもや若者が、本や人との出会いを通じて新たな可能性に気づき、**自らの未来を考えるきっかけを創出する場を提供し**、水戸市の未来を担う人材を育成すること。そのため、読書や勉強を十分できる空間を設けること。

ウ こども同士の遊ぶ機会の低下やこども会の解散等により、こども同士の関係が希薄化している。そのため、学校や学年の枠にとらわれることなく、イベントや講座において、**こどもたちが交流する機会**を提供すること。また、こどもたちが自ら考えたことを実行できるような学習室や講座を提供すること。

エ こどもが来館したくなるよう**こどもの遊び場**を設置するとともに、昔話や手芸、お手玉、工作などの、**ボランティアと触れ合える講座**を実施すること。

### (2) 子育て支援

ア こども会の加入率低下や解散等により、保護者が子育てに関する情報をなかなか得られなくなっている。そのため、イベントや講座において、保護者同士に限らず、**子育てに関わる者同士の交流の機会**を設けること。

イ 南部地域には、子育て世帯が多いことから、子育てから離れ、調べものや読書を楽しむための**託児サービス**を提供すること。また、いつでも気軽に子育ての悩みを解決できる**育児相談サービス**を提供すること。

ウ 保護者等が気兼ねなく声を出して乳幼児に読み聞かせを行うことができるとともに、**乳幼児の自由な活動を受け止める場**を提供すること。

### (3) 高齢者が生きがいを持てる図書館

ア 高齢者の増加に伴い、その活躍が期待されることから、読書や講座を通じた**高齢者の学びの機会**を提供すること。

イ 高齢者が社会とのつながりを持つため、新図書館において、配架や講師などの**ボランティア活動の機会**を提供すること。

ウ 高齢者が読書し、休息をとり、ほかの人と交流するため、サロンやカフェなど、**高齢者が安心できる空間**を設けること。また、健康相談が受けられるようにすること。

エ スマートフォン端末やタブレット端末が普及し、情報検索が容易になっているが、これらの扱いに慣れない方もいる。そのため、スマートフォン端末の使い方やアプリの利用方法を学ぶ講座を設けるとともに、地域の情報を集約し、**情報格差の解消支援**を行うこと。

#### (4) たて・よこ・ななめの交流機会の提供

ア こどもの心の成長を促進するため、絵本の読み聞かせを行うほか、職員やボランティアの声掛けなどを通じて、**親子が触れ合う機会**を提供すること。

イ こども同士、高齢者同士など、**同じ境遇にある者同士が交流するための講座や空間**を設けること。

ウ 社会性を育み、失敗を乗り越える方法や多様な人間関係を学べる機会を提供するため、**こどもや若者が、親や学校の先生以外の大人と関わるイベントや講座**を設けること。

エ 高齢者が社会的役割や生きがいを持てるよう、**高齢者がその知識や経験をこどもに伝えるとともに、高齢者も若者やこどもから得られるものがあるような機会**を創出すること。

#### (5) 誰もが使いやすい施設設備

ア 車椅子専用席のような特定の区分けをあえて設けず、高齢者、障害者、こどもなど、**誰もが直感的に利用できる、ゆとりのある空間**を確保すること。また、多様な人が同じ空間を共有できる環境をつくること。

イ 災害時に聴覚障害者に対する避難誘導を円滑に行えるようにするとともに、来館者や地域住民を守るための**防災拠点**とすること。

#### (6) デジタル技術による利便性の向上

ア スマートフォン端末等が普及し、キーボード入力が難しい方がいるため、タブレット端末の設置に努め、**大きな文字表示を用いた情報検索や従来のキーボード入力に頼らない情報検索**ができるようにすること。

イ デジタル技術の導入による**業務の効率化によって時間を生み出し**、その時間を、利用者との対話や企画立案など、人にしかできない業務に充てること。

ウ デジタル技術を活用して**利用者の利便性を高める**こと。また、A Iを含めたデジタル技術による新たなサービスの導入を検討すること。

- 例 ① 読書への興味を喚起するために貸出や閲覧の記録を可視化するサービス  
② 座席の利用状況や空間の混雑状況を表示するサービス  
③ 手ぶらで貸出が可能となる顔認証システム  
④ 家族分のカード一括管理でき、返却期限等の通知機能もあるスマホアプリ  
⑤ 読まれている図書を可視化するデジタルサイネージ

## (7) 多様な来館者が利用しやすい空間づくり

ア こどもを連れて気兼ねなく来館できるよう、**会話や環境音が許容される空間づくり**を目指すこと。他方で、静かに過ごせる空間とは、緩やかな棲み分けを図ること。

イ 空間づくりや利用のルールづくりについては、**市民とともに作りあげる**こと。禁止事項は最小限にとどめ、自由で市民に開かれた施設にすること。

## (8) 特色あるイベントや講座等の推進

ア こどもにとって、成功体験や失敗体験が重要であることから、地域の自然や文化に触れるとともに、ものづくりなどの**体験ができるイベントや講座**を実施すること。特にデジタル化が進む中で、人との対話や温かみを感じられるサービスが重要であるから、対面での交流や創造的な活動など、五感を使った体験価値を提供すること。

イ 新たな図書館が**地域の情報と行動の起点**となり、近隣の文化施設、公園、自然環境などを線や面で結び、街全体の回遊性を高めること。

ウ デジタル化が進む社会において、A Iとの共生を深めるため、**A Iと図書館の資料を使った情報教育**を推進すること。

エ **生涯学習の発表の場**として、館内で演奏できるステージや自由に使えるピアノを設置すること。

## (9) 多くの人が立ち寄り、市の魅力を発信する図書館

ア 市の歴史・文化・観光資源などを展示・紹介することにより、地域住民のみならず、旅行者から注目されるような**高い発信力**を有すること。また、映画やミュージックビデオ等のロケの誘致に協力し、多くの来館者が訪れるような**ブランド力**を有すること。

イ **イベント情報をまとめて展示**し、イベントと人を結びつけるほか、**地域の情報を集約**し、居住地域やその周辺の情報が得られる仕組みを構築すること。

ウ シェアサイクル「みとちやり」ステーションを設置し、市民や観光客を来館しやすくするほか、多言語案内表示に努めること。

### 3 新図書館の規模と立地

#### (1) 規模の検討と可変性の確保

ア **新図書館の機能を明確にする**ほか、先進事例を参考にして、その機能に必要な施設規模を算出すること。

イ 当面は南部地域における子育て世帯の増加に対応した施設とするが、20年、30年先の将来の人口構造の変化などの**社会の変化に柔軟に対応できる可変性のある空間**とすること。

ウ 整備に当たっては、図書館の課題を洗い出すとともに、利用者の動向や社会の変化を予測し、**図書館全体で効率的で効果的な運営**を目指すこと。

#### (2) 既存施設の検討

ア 建設コストの縮減や早期の供用開始を図るため、南部地域の**既存施設の転用について検討**すること。

イ 運営費削減や利用者増の観点から、図書館以外の施設との**複合施設とすることについて検討**すること。

#### (3) 安全なアクセス

ア 車社会である地域特性を踏まえ、**駐車場の広さを十分確保する**とともに、悪天候でも利用しやすくすること。

イ 新図書館まで**徒歩や自転車で安全に通える**こと、路線バスでも行きやすいことを十分に考慮して立地を選定すること。